

(別紙2)

評価細目(共通項目)の福祉サービス評価結果

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

評価項目・細目		評価結果
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立されている。		
- 1 - (1) -	理念が明文化されている。	a・b・c
- 1 - (1) -	理念に基づく基本方針が明文化されている。	a・b・c
- 1 - (2) 理念や基本方針が周知されている。		
- 1 - (2) -	理念や基本方針が職員に周知されている。	a・b・c
- 1 - (2) -	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a・b・c
評価所見 保育の理念や、理念を踏まえた基本方針は保育所案内やパンフレット等に明文化されている。職員には採用の際から保育所の基本方針の説明がなされていた。また保護者へも、契約の折、説明するなど周知への努力がなされている。しかし、保護者の保育観も多様化しており、保育所が目指している福祉サービスの実現に向け、解説文の作成や定期的な説明など理解が深まるようなさらなる取り組みが望まれる。		

- 2 計画の策定

評価項目・細目		評価結果
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
- 2 - (1) -	中・長期計画が策定されている。	a・b・c
- 2 - (1) -	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・b・c
- 2 - (2) 計画が適切に策定されている。		
- 2 - (2) -	計画の策定が組織的に行われている。	a・b・c
- 2 - (2) -	計画が職員や利用者等に周知されている。	a・b・c
評価所見 保育ニーズを的確にとらえて、延長保育、一時保育、休日保育、障害児保育、子育て相談など意欲に富んだ取り組みがなされている。また、今後にも向け保育環境の整備と充実、病後児保育の実現を検討するなど運営への十分な取り組みがなされている。ただ計画の策定にあたって、保育所が目指していることの実現に向け、より手順や課題を明確にした取り組みが望まれる。また職員・保護者への周知徹底にもう一段の工夫が求められる。		

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

評価項目・細目		評価結果
- 3 - (1) 管理者の責任が明確にされている。		
- 3 - (1) -	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a・b・c
- 3 - (1) -	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
- 3 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
- 3 - (2) -	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a・b・c

- 3 - (2) - 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a ・ b ・ c
- 3 - (2) - 管理者は、代表者とともに福祉サービスの質の向上に熱意を持ち、それぞれの権限や責任を踏まえて、ともに取り組んでいる。	a ・ b ・ c
<p>評価所見          運営に関して管理者としての責任やリーダーシップは十分に発揮されている。管理者は各種研修会に参加し自己啓発に努め、職員の資質向上に対する取り組みも研修会への参加の奨励など意欲的である。ただ、的確な職務分担と責任についての表明と個々の職員との意思の疎通が十分になされているかという点で一層の努力が求められる。</p>	

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

評価項目・細目		評価結果
- 1 - (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
- 1 - (1) - 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a ・ b ・ c	
- 1 - (1) - 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a ・ b ・ c	
- 1 - (1) - 外部監査が実施されている。	a ・ b ・ c	
<p>評価所見          保育環境の変化、ニーズの多様化に対してよく研究し、適切な対応がなされている。経営状況の透明化に対する外部監査についても、今後取り組みがなされることを期待したい。</p>		

- 2 人材の確保・養成

評価項目・細目		評価結果
- 2 - (1) 人事管理の体制が整備されている。		
- 2 - (1) - 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a ・ b ・ c	
- 2 - (1) - 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a ・ b ・ c	
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
- 2 - (2) - 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a ・ b ・ c	
- 2 - (2) - 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a ・ b ・ c	
- 2 - (2) - 職員の業務上の悩みやストレスを解消する方策を取り入れている。	a ・ b ・ c	
- 2 - (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
- 2 - (3) - 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a ・ b ・ c	
- 2 - (3) - 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a ・ b ・ c	
- 2 - (3) - 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c	
- 2 - (4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
- 2 - (4) - 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a ・ b ・ c	
- 2 - (4) - 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a ・ b ・ c	

評価所見

職員の管理体制、質の向上に向けた取り組みには努力が見られる。ただ職員の就労に関する意欲の把握、業務上のストレスや悩みを解消するという点で職員との意思疎通が十分になされているかの確認と、もう一段の工夫改善が求められる。また、実習生の受け入れを積極的に行い、人材育成の一助を担っている点は評価できる。保育所の機能や人材を活かしたプログラムを準備するなど、保育所全体としての実習生の受け入れ体制により一層の工夫を期待したい。

- 3 安全管理

評価項目・細目		評価結果
- 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		
- 3 -(1)-	緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a・b・c
- 3 -(1)-	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a・b・c
評価所見 施設の構造は安全に対する配慮がなされ、警備会社との連携がとられている。またマニュアルも策定され、安全管理には細かな気配りがなされている。防災に対する訓練等も十分になされている。		

- 4 地域との交流と連携

評価項目・細目		評価結果
- 4 -(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
- 4 -(1)-	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a・b・c
- 4 -(1)-	保育所(施設)が有する機能を地域に還元している。	a・b・c
- 4 -(1)-	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
- 4 -(2) 関係機関との連携が確保されている。		
- 4 -(2)-	必要な社会資源を明確にしている。	a・b・c
- 4 -(2)-	関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
- 4 -(3)-	地域の福祉ニーズを把握している。	a・b・c
- 4 -(3)-	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a・b・c
評価所見 子育て支援センターを設置し、地域の子育て支援の中核として、相談への対応や園庭開放などが行なわれている。放課後児童健全育成事業や各種地域交流事業の実施など地域のニーズをよく把握して、意欲的に交流がなされている。また公民館、学校、老人会など地域の関係機関との連携も密で、地域の福祉向上への取り組みは活発になされている。今後も、連携の必要性がある関係機関リストとその資料作成により社会資源を明確化することで、さらに継続した取り組みがなされることを期待したい。		

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

評価項目・細目		評価結果
- 1 -(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		

- 1 - (1) -	利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 1 - (1) -	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 - (2) 利用者満足の上昇に努めている。		
- 1 - (2) -	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	a ・ b ・ c
- 1 - (2) -	利用者満足の上昇に向けた取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
- 1 - (3) -	利用者が相談や意を述べやすい環境を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 - (3) -	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a ・ b ・ c
- 1 - (3) -	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a ・ b ・ c
<p>評価所見</p> <p>「園だより」などの発行による保育所からのお知らせ等は的確で、福祉サービスに対する共通理解への取り組みは意欲的である。また連絡帳の活用もよくなされている。プライバシーの保護に関するマニュアル等も整備され、各職員の意識も高い。ただ、保護者の保育観が多様化してきている中で、保育所の保育方針等目指しているものを正確に理解していただくことは大変なことである。保護者の現状を細かく理解するためにもアンケート等を利用した定期的な調査と結果の把握・検討をすることが求められる。苦情解決の制度の周知には努力されている。日頃からの要望に対しても記録し報告検討をするなど、より的確かつ迅速に対応しフィードバックすることが求められる。そのためにデータを蓄積し活かすなど、保育所全体の体制をより工夫されることが望まれる。</p>		

## - 2 福祉サービスの質の確保

評価項目・細目		評価結果
- 2 - (1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
- 2 - (1) -	福祉サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a ・ b ・ c
- 2 - (1) -	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a ・ b ・ c
- 2 - (1) -	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a ・ b ・ c
- 2 - (2) 個々の福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
- 2 - (2) -	個々の福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a ・ b ・ c
- 2 - (2) -	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a ・ b ・ c
- 2 - (3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
- 2 - (3) -	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われている。	a ・ b ・ c
- 2 - (3) -	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a ・ b ・ c
- 2 - (3) -	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a ・ b ・ c
<p>評価所見</p> <p>定期的な職員会議や保護者への講演・参観が開催され、保育内容について質の向上への取り組みは積極的になされている。質の評価にあたって、職員がより活発に、そして率直に話し合う場の雰囲気づくりがさらになされれば、より充実した保育の展開へつながると思われる。保育サービスの実施記録は適切に行われている。ただ、多人数の職員が多数の児童の支援を担当していることから、日常的な関わりによって得られた情報や変化等をより良く活用するために、</p>		

さらに綿密で機能的な共有化の仕組みづくりが望まれる。

### - 3 福祉サービスの開始・継続

評価項目・細目		評価結果
- 3 - (1) 福祉サービス提供の開始が適切に行われている。		
- 3 - (1) -	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を提供している。	a ・ b ・ c
- 3 - (1) -	福祉サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a ・ b ・ c
- 3 - (2) 福祉サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
- 3 - (2) -	保育所(施設)の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a ・ b ・ c
<p>評価所見</p> <p>利用するにあたっての書類等は整備され、福祉サービス提供の開始について十分な内容の情報提供も行われている。またサービスの継続性についても保護者や関係機関との連絡が密にとられるなど、十分に配慮した対応が行われている。</p>		

### - 4 サービス実施計画の策定

評価項目・細目		評価結果
- 4 - (1) 利用者のアセスメントが行われている。		
- 4 - (1) -	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a ・ b ・ c
- 4 - (1) -	利用者の課題を個別の福祉サービス場面ごとに明示している。	a ・ b ・ c
- 4 - (2) 利用者に対する福祉サービス実施計画が策定されている。		
- 4 - (2) -	福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a ・ b ・ c
- 4 - (2) -	定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c
<p>評価所見</p> <p>アセスメント、実施計画の策定は手順に沿って行われている。しかし保護者のニーズや課題も多様化している。子ども一人ひとりにあったサービスを提供するためには、保護者の希望も尊重し、保育所と保護者の双方が納得のいく計画作成や見直しを行う必要がある。さらに充実したサービス提供にむけ、日常生活の記録活用や見直しの基準などにもう一段の検討と、説明方法の工夫などが期待される。</p>		